

# JAMトピックス

J  
第  
中  
A  
2  
委  
員  
M  
回  
会

## ベア要求共闘 効果あり 14年春闘中間総括など決める

2014年6月26日  
編集：JAM本部

JAMの2014年春闘の中間総括や2015年度活動方針骨子などを決めた第25回中央委員会が5月27日、代議員など175人の参加で開かれ、提案された議案をそれぞれ満場一致で決定した。



<福島での開催意義を語る眞中会長>

中央委員会冒頭のあいさつに立った眞中行雄JAM会長は、今回の中央委員会は被災地復興の一助となればと福島の地で開催していますと前置きし、労働者保護ルールを岩盤規制と決めつけ、残業代を払わないで働かせるなどという考え方は到底容認できない。JAMは働くことを軸とする安心社会実現のために大衆を巻き込んだ諸行動に積極的に取り組んでいくと述べた。



<春闘中間総括を説明する藤川副会長>

14春闘の中間総括は、大要以下のようにまとめられた。要求提出日に要求提出数の大幅増で出発。5月中旬段階で妥結額5,072円。ベア・改善分の要求は836単組(52.2%)が行い、521(32.7%)の単組が1,519円の回答を得た。中でも中小の健

闘が注目される。



<被災地と心の絆を強め、団結ガンバロー>

主な成果として、①単組数、金額ともJAM結成以来最高のベアを獲得するなど、ベア要求を軸とする共闘の効果があった②賃金実態の把握に基づく賃金是正・改善の取り組みが進んだ。

問題点と課題では、①共闘の強化の観点から早期の要求提出など全単組徹底すべき②構造維持分を超える有額回答の中身について実態把握する必要がある③対前年度増加額が過年度物価上昇率0.89%を満たさず生活防衛という観点から問題を残した。



<大震災の状況を語る門馬会長>

また、中央委員会開催前に「東日本大震災 南相馬市社協の取り組み」と題して福島県南相馬市社会福祉協議会の門馬秀夫会長より東日本大震災時の状況やボランティアとの交流など実体験を交えての話があった。